



「今月の祈り」

主なる神さま、この一週間の初めの日、また、主イエス・キリストがよみがえられたこの日に、あなたの御前に集まり、共に祈りを捧げます。

あなたがつくられたこの世界に、また、あなたが主イエス・キリストを送ってくださったこの世界に、今、私たちが生かされていることを感謝します。どのような時にも、あなたが、恵みと憐れみをもって、私たちの傍らに立ち、私たちと歩幅を合わせて、共に歩んでくださっていることを覚え、深く感謝します。

神さま、あなたをきずなとして結ばれた教会の交わりを祝福してください。あなたの祝福に应えて、私たちが互いに愛し合い、支え合い、喜びをもって、あなたの愛に基づいたあたたかい関係性を、これから育んでゆくことができますように。私たちひとりひとりに、互いを思いやる深い配慮と知恵を与えて下さい。

自分と違う人を受け入れず、むしろ排除しようとする空気が広がっている昨今です。誰かを独りに追いやるよりも、むしろ誰も独りのままにしない道を、私たちが、生活のいろいろな場面において、選んでゆくことができますように。そし

て、教会の内側外側を問わず、私たちが生きている所、それぞれの生活の場において、あなたの愛に基づいた、隣人とのあたたかい関係の輪を広げてゆくことができますように、切に願います。

私たち一人ひとりの働きは、本当に小さなものですが、人を生き生きと生かすことのできる言葉を与えられています。今から、私たち共に御言葉に聞こうとしておりますが、御言葉が私たちの心に再び植えられ、御言葉によって私たちの魂が養われますように。

神さま、世界に平和をもたらしてください。この世に命を与えられた一人一人が、将来に夢を抱き、自らの歩みを肯定して、自分らしく生きられる世界となりますように。特に、子どもたちが与えられた生に喜びを感じ、この世に希望を抱いて生きる世界となりますように、切に願います。

神さまの愛が、この世界の隅々にまで行き渡りますように。そのために平和の使者として、どうか私たちを用いてください。

この祈りを主イエス・キリストの御名によっておさげいたします、アーメン。

日本キリスト教団
北千里教会

牧師 宮岡 真紀子

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台4丁目5-10

電話 (06) 6834-0978

郵便振替 00940-2-131583

口座名義 日本基督教団北千里教会

kitasenri.ch@gmail.com

<https://www.kitasenrikyoukai.info/>

教会員のページ

「回 想」

【今城裕隆さんの追悼(2026年6月27日召天)】

根来真実

父、今城裕隆が天に召され、はや3か月。母が召された時は、長い間めそめそ泣き続けました。父を亡くした今は元気に過ごしていますが、突然慟哭のような激しい悲しみが襲ってきます。

私は、結婚してから毎年クリスマスに、父に「能率手帳」をプレゼントしていました。遺品の中からその手帳が見つかりました。一言日記のようにぎっしりと書かれています。

「イサク泊」「マジ山(私のあだ名)」「かほちゃんレッスン」「まほちゃん送迎」「はっくん、おもり」等々。生前は、父の困った対応に気持ちがいき、父のこの深い愛情を感じとれていたのでしょうか。父を思い、懐かしさと感謝の気持ちでいっぱいです。

父は具合が悪くなってから賛美歌を口ずさみ、週報の話をしていました。父なりの表現で信仰生活を送っていたことを、今になって感じます。弟と私の実家は北千里教会の礼拝堂です。父、母、神さまに会いに教会に行き、心の中で対話を続けたいと思います。

「父と教会との思い出」

今城慰作

今年6月27日に逝去した父、今城裕隆と北千里教会の思い出は、今の会堂が建つ前の、平屋の建物にさかのぼります。私は毎週日曜日に教会学校へ通い、父は教師として奉仕していました。今思えば、まだ三十代の頃でした。

新しい礼拝堂ができてからも、バザーではウエイター役を張り切って務めていました。学生時代からコーラスに親しんだ父は、賛美歌になると独自のハーモニーを大きな声で響かせていました。隣で歌う方は、つられないよう苦労されたかもしれません。

サービ精神が旺盛で、時には少々張り切りすぎる父を、教会の皆さまは温かく見守ってくださいました。北千里教会がなければ、父との定期的な交流も、共通の話題も、ずっと少なかったと思います。もっとも、阪神タイガースの話だけは尽きなかったでしょう。

父に奉仕の場を、私たち親子につながりの場を与えてくださった北千里教会に心から感謝いたします。

「川西喜久子さんを偲んで」

【川西喜久子さんの追悼(2026年6月25日召天)】

玉田満恵

川西喜久子さんと御一緒の貴重な写真があります。内田幸玉さんが写して下さったもので2019年3月24日と記されています。

日曜日の礼拝後に喜久子さんと内田さんが私の家に寄って下さり、有り合わせのもので昼食を御一緒した折りの懐かしい写真です。にこやかな何とも素敵なお顔です。

その後入居なさった豊泉家には上新田への近道の竹林を通して何度か伺わせて頂きました。アットホームなお部屋でゆったりとした語らいの時間が与えられました。

最後の頃、伺った南千里の施設のお部屋には愛用のオルガンが置かれていて、喜久子さんの豊かさを垣間見る思いが致したものでした。

神さまに愛されて、静かで、お優しく、時に毅然とした喜久子さまのお姿が今も目に浮かびます。在りし日の主に在る温かいお交わりを、心から感謝致しております。